

長良九条の会だより

NO133
2018年
3月号
事務局 林
090-6769
-9809



カンパの報告(3月10日現在) 51名
14万7000円
いつもカンパをありがとうございます。事務局

第8回「ながら憲法カフェ」

盛り上がる!

2月24日、長良公園研修センター
誰にもわかる憲法の話

“最近の報道で思うこと”

日本国憲法21条 集会・結社・及び
言論・出版、その他一切の表現の自
由はこれを保障する

◆参加者の疑問「テレビも新聞も同じ
報道。知らないこと、本当のことを
知るためにどうしたらいい?」

「若い人は新聞を読まず、ネットから
ニュースを見る。ネットではどう
いう情報を流している?」「フェイク
(偽)ニュース・ウソの発言などに騙
されないためにはどうしたらいいの
か?」

◆ネットについて津田さんから

「アメリカでは嘘のニュースをツイ
ッターであつという間に拡散するこ
ともある(銃規制反対のデモに参加
する高校生を金で雇われたとする記
事)それを新聞やテレビより面白い
からと見ている人も多い。世論を操
作するのも簡単。」「日本でも、ニ
ュース女子という番組が沖縄の辺野古
反対の人達を金で雇われたと報じた

り、産経新聞が交通事故で米兵が日
本人を救出などと報じた。(前者はB
POによって批判され、番組自体が
なくなっています。)

ネットのニュースは取材もしないで
あちこちから安く買ったり引つ張っ
てきた記事が多い。個人の取材記事
をながしているネットニュースもあ
るが。」

◆参加者の意見 「これからはもつ
とネット依存になるだろう」「どの局、
どの紙面を見ても同じなのは、①放
送法の政治的公平にしばらくは ②
政権への付度 ③スポンサーからの
圧力 ④大衆の興味、のためだと思
う。」

◆岡本弁護士の見解 「放送法の上に
憲法21条の表現の自由がある。国家
権力が公平にしると言うのは批判す
るなど言うことで放送法にかこつけ
であり、おかしい。メディアも反論
もしないのはおかしい。」

◆津田さんからも一言 「憲法が大前
提と言うだけではだめ。政治家任せ
マスコミ任せでは憲法は護れない。
一人ひとりが自分の足で確かめて発
信することだ。メディアに意見を伝
えることもだいじである。」



お願い

次回の「憲法カフェ」は

5月に予定しています。

前回同様

長良公園研修センター

皆様からの「憲法カフェ」

をはじめ様々なご意見

を「みんなの広場」など

受け付けていただいで

いますのでよろしく

お願いいたします。

事務局一同

長良九条の会 3000万人署名 (毎月25日締め)

*現在、全国の各団体、グループで、
『3000万人署名』の活動が活発に展開中です。
機関は5月3日締切。

*隣近所から声をかけましょう!

*もう署名は済みましたか?

集約させていただきますのでよろしく。

(署名用紙をご希望の方は事務局員まで。)

| | 各月実績 | 累計筆数 |
|----------|------|------|
| 2017-10月 | 170筆 | 170筆 |
| -11月 | 70筆 | 240筆 |
| -12月 | 150筆 | 390筆 |
| 2018-1月 | 50筆 | 440筆 |
| 2018-2月 | 170筆 | 610筆 |
| 2018-3月 | ? | ? |

事務局にありますのでご利用ください! ご希望の方は事務局員までどうぞ

*小冊子 「憲法9条を変えて、「戦争する自衛隊」にしていいいですか?」

*学習用DVD 「安倍9条改憲NO 3000万人署名の成功にむけて」「9条改憲って何?」

沖繩・辺野古見聞記

(連載—第二回)

当日、夜は民泊を初体験。現地の方から辺野古・大浦湾の現状、工事の進み具合と、反対運動等につき二時間近くお話を聞きました。当夜は入浴なしのシャワーのみで就寝し、二段ベット。でも寝具は新品未開封を使い、まずは救われました。なんでも近々に、新規リニューアルオープン予定とのこと。

翌朝は軽い朝食、これは地元の方々からの差し入れだったそうです。感謝！いざいかん辺野古へと勇んで約1キロ、米軍基地キャンプ・シユワブのゲート前、恐々と通りすぎ目的の座り込み場所に到着。

現地の方に、準備していただいたボード、「辺野古新基地NO」を持ち機動隊車輛の前で、念願の座り込み。工事車両、機動隊員を待つが、なかなか現れず待つことしばし。警備会社の兄ちゃんがいるだけ(この人たちは全く友好的でした)。とにかく今回のツアーの目的は達成と感じた頃から、連日ハードの故か、にわかには体調不良、リタイア！キャンプ入り口の警備員詰め所前でトイレの借用を頼むが聞く耳持たず。この黄色い線から入るな！の連呼のみ。民泊所で

休息、大浦湾、浜のテント村には行かれなかったのが心残り。午後には

高速バスで名護から那覇市へ。那覇でまず訪ねたのが対馬丸記念館。

昭和19年、軍より老・幼・婦女子

は県外に疎開するよう命令された。

対馬丸は学童集団疎開の子どもたち

をたくさん乗せて8月21日に那覇

港を出港し、翌22日夜、米潜水艦の

魚雷攻撃により沈没した。乗船者約

千八百人のうち学童約八百人を含む

千五百人の人々が海底へ消えてしま

った。犠牲になった集団疎開の子ど

もたちを含む数多くの人々の遺影が

展示される一室では、この子達それ

ぞれに夢と希望を持って本土に向か

ったであろうに、と思うと目頭が熱

くなり、耐えられない思いで足早に

記念館を退出。(次号につづく)



「自衛隊戦闘機の爆音は大きい」

岐阜県平和委員会常任理事

鷺見鎮一

とつぜんNHK受信料の補助を、廃止を含めて見直すという通知が、対象となる世帯に郵送された。防音工事を行っている世帯には補助金を打ち切るという内容でした。対象となる市民からは「防音工事が完了していてもテレビの音声は飛行機が飛べば聞き取れない。補助制度を見直すのは現実にはそぐわない」の声が出ています。

自衛隊機の騒音は実際の程度を調査した。

調査場所は、基地の東北東3km、国道から100m、JR高山線の150m自宅を調査。

◆自衛隊戦闘機の瞬間最高値。

* F4、95 デシベル、* F15、85 デシベル、

* F2、85 デシベル。

◆高山線「ワイドビュー」飛驒75 デシベル、

◆国道のトラックは発進時に72 デシベル、

◆3台同時の発進時に80 デシベル、

戦闘機の騒音がいかに大きいか知ることができました。日常的に生活していると、トラックや列車の音を大きく感じていましたが、音を計測してみると、戦闘機の音の方が瞬間的には遙かに大きいことがわかりました。計測場所は着陸をしていく所です。離陸時はずっと大きな音がします。これからも岐阜基地を監視し爆音調査も行うことが大切だと思いをしました。(前回憲法カフェ講師)

今後の予定

- ★3月19日(月) マラソン署名行動 「安倍9条改憲NO!」 4時~7時半名鉄駅前
- ☆3月29日(木) 名鉄駅前 5時~5時半
- ◆4月9日(月) 署名活動 チラシ配り 4時より 長良生協前

つぶやき

長良9条の会は第8回目の憲法カフェを2月24日に終えた。地域の方を講師に迎えて身近な問題をみんなで作った。「内容としては難しい点もあったが、知らないこと、気が付かなかったことなどわかってよかったね。」という声が聞かれた。私としては不満も残っている。時間切れで終わったこと。津田さんが最後に言われたことを反芻してみる。「我々に求められているのは、一人ひとりが考えて行動すること。憲法を盾にすることは、もはや、むずかしいかも。」さて、私たちにできることはさしずめ何だろう。本物と偽物を見分ける力はどうしたらつけられるか。今後の大きな課題である。(平塚)